にぎやかそ地方創生便り Vol.53

「役場職員へインタビュー」

美波町のまちづくりを担う役場職員へ、それぞれの事業にかける想いについてインタビュー。「美波ふるさと創造戦略」の４つの基本方針の中で、現在、特に力を入れている取り組みについて聞きました。

Question!

① 事業や取り組みの概要について
② これから頑張っていきたいこと
③ 住民のみなさまへメッセージ！

① 人の流れづくり

次の世代の子供たちに、より良い未来をつなぎたい

政策推進課
主査 鍛治淳也

A1. 現在、県内最多の20社が町内にサテライトオフィス を開設しています。都会の企業が美波町にオフィスを構える理由は、ライフワークバランスの拡充が当初は主な目的でしたが、現在は津波対策や高齢化などの地域課題に対する新たな解決策（サービス）を生み出す場所として、美波町への注目が高まっています。持続可能な町を目指すため、地域課題解決に向けて共に取り組むパートナーを探すことが、今の私たちのミッションだと思っています。

A2. 数値的な目標もありますが、それよりも、これから目指すべき日本社会のあり方を一緒に模索し、創造していけるような企業を誘致したいと思っています。エネルギー問題や漁獲高の向上、資源保護など、次の世代の子供たちに、より良い未来を残すための取り組みを、官民が連携して進めていければいいなと思っています。

A3. イベントへの参加など、サテライトオフィス企業誘致の取り組みにいつもご協力いただきありがとうございます！！

② 仕事づくり

地域の水産業を盛り上げたい

産業振興課
書記 濱宮 雄大

A1. 令和３年１月に旧由岐町の３漁協が合併して由岐漁協が発足しました。合併に関わる施設整備費や事業費に対して10分の９を町が補助するなど町独自の支援体制を整備しています。漁協運営の効率化や組合員のサービス向上などを実現し、今回の合併を成功事例として、地域漁業全体への良い影響を生み出していきたいと考えています。

A2. 地域の方々と協力しながら持続可能な水産業の構築を目指し、支援の幅を広げると共に、具体的な取り組みも進めていきたいと思います。
例えば、町が事務局を務める「美波の海の恵み研究会」ではブランドワカメの養殖と商品化を実現し、「持続可能な漁業」として一定の成果をあげています。これからも地域全体の水産業を盛り上げるため必要なことをしっかりやっていきたいです。

A3. より多くの事業者の方が活用しやすい支援体制をつくっていきたいと思いますので、ご要望をどんどん聞かせていただければと思います。役場でお待ちしています！

人口が減ってもにぎやかな町・美波町をつくるため、
日々頑張る人や団体、取り組みなど、情報提供をお待ちしています！
▶役場政策推進課（77-3616）もしくは ▶ QR コードの応募フォームからご連絡ください。